



保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)

2008年度  
**特別勘定の現況**  
 (世界分散型40AL(501)/世界分散型20AL(502))  
 決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
 さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用  
 状況をご報告申し上げます。  
 今後とも何卒ご愛顧の程よりしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>

お問い合わせ先 **0120-375-193**

\*受付時間:平日9:00~17:00(土・日・祝日および12月31日から1月3日は休業とさせていただきます。)

STATE STREET  
 GLOBAL ADVISORS | SSGA

**【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社**

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、世界有数の金融機関である米国ステート・ストリート銀行グループに属します。  
 1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。また、母体であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ  
 (SSGA)は、世界有数の資産運用額を誇る米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門です。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立  
 された歴史と伝統ある金融機関です。

2008年7月1日付で、「ステート・ストリート投信投資顧問株式会社」は、「ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社」へ商号変更いたしました。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

# 保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2008年度）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

## 運用環境 [ 2008年4月 ~ 2009年3月 ]

### 【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比36.22%下落の773.66ポイント(前期末は1,212.96ポイント)で終了しました。

6月初旬にかけて、米株高や円安進行を背景に一時1,400ポイント台まで上昇しました。しかしその後は、資源価格高騰による企業収益圧迫懸念などから下落に転じました。9月に入ると米大手証券の経営破綻を受けて金融システム不安が再燃し、金融市場は大混乱となり急落しました。その後は、金融不安の実体経済への波及や円高進行が嫌気される一方、各国の経済対策への期待が交錯し、安値圏で変動の激しい展開となりました。3月には一時700ポイントを割込み、バブル崩壊後の安値を更新しました。

業種別(東証33業種)では、円高・原油安等によるコスト低下期待から「パルプ・紙」(前期末比5.18%)の下落率が限定的だった一方、軟調な海運市況を背景に「海運業」(同61.35%)が最も下落しました。

### 【外国株式市場】

米国株式市場は、下落しました。NYダウは前期末比37.95%下落の7,608.92ポイント(前期末は12,262.89ポイント)で終了しました。5月中旬にかけて堅調な推移で始まったものの、その後は米政府系住宅公社(GSE)の破綻懸念や米大手証券の経営破綻を契機に急落しました。11月以降、オバマ次期米大統領の経済対策への期待などから一時的に反発する局面もありましたが、米自動車会社の経営危機などから引き続き景気後退が懸念され、概ね軟調な展開となりました。

欧州株式市場は、下落しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比31.15%下落、仏CAC40は同40.36%下落、独DAXは同37.49%下落となりました。世界的な金融不安の深刻化などを背景に、概ね米国同様の動きとなりました。

### 【日本債券市場】

日本債券市場は、期初の金利上昇後は低下基調で推移し、当期末の新発10年国債利回りは1.340%となりました(前期末は1.275%)。

資源価格高騰による世界的なインフレ懸念を背景に金利は上昇基調で始まり、6月に一時1.9%近傍まで上昇しました。その後は、金融不安を背景とする世界的な景況感の悪化や金融緩和策の実施、4-6月期以降連続してマイナスとなった実質GDP成長率など軟調な国内経済指標を受けて、12月には1.1%台まで低下しました。期末にかけては、追加経済対策に伴う国債需給悪化懸念を嫌気した債券売りが台頭し、1.3%前後の狭い範囲で探り合いながら推移しました。

日銀は、前期末年0.5%であった政策金利を当期末までに年0.1%まで引き下げました。

無担保コール(翌日物)は前期末0.5%程度から当期末0.1%程度に水準を切り下げ推移しました。

### 【外国債券市場】

米国債券市場は、期後半に金利が大幅に低下しました。米10年国債利回りは期前半は4.0%前後で堅調に推移しましたが、その後米大手証券の経営破綻などを契機に投資家のリスク回避傾向が高まる中、米FRB(連邦準備制度理事会)による利下げやインフレ圧力の低下を背景とした国債買いが優勢となり、当期末は2.663%となりました(前期末は3.410%)。

欧州債券市場は、期中頃に金利が大幅に低下しました。独10年国債利回りは7月に4.6%台まで上昇した後、世界的な金融市場の混乱に加え軟調な域内経済指標を受けて、低下の一途を辿り、当期末は2.994%となりました(前期末は3.899%)。

米FRBは、前期末年2.25%であったFF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を当期末までに年0.0~0.25%まで引き下げました。ECB(欧州中央銀行)は前期末年4.0%であった政策金利を7月に年4.25%としましたが、当期末までに年1.5%まで引き下げました。

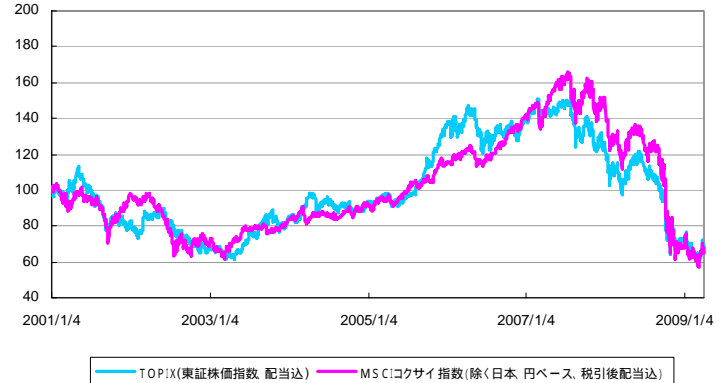
### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、インフレ懸念を背景に米FRBによる過度な利下げ観測が後退し、8月には1ドル=110円台まで円安が進行しました。9月以降は金融不安が再燃し、12月には13年ぶりに87円台まで円高が進行しました。期末にかけては、国内の景況感悪化を背景とした円売りから米ドルが戻す展開となりました。円は対ドルで前期末比1円96銭(+1.96%)円高ドル安の1ドル=98円23銭(前期末は1ドル=100円19銭)となりました。

ユーロ/円相場は、インフレ懸念を背景にECBによる利上げ観測が台頭し、7月には1ユーロ=169円台まで円安が進行しました。8月以降は欧州での景気後退の深刻化懸念やECBの大幅な利下げによる金利差縮小を受けて、急激に円高が進行しました。円は対ユーロで前期末比28円35銭(+17.92%)円高ユーロ安の1ユーロ=129円84銭(前期末は1ユーロ=158円19銭)となりました。

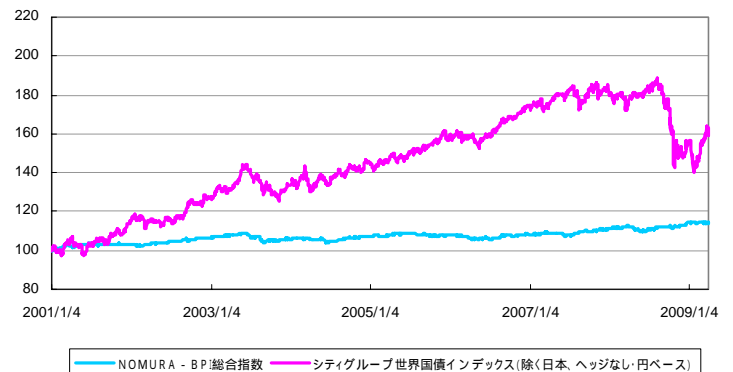
### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

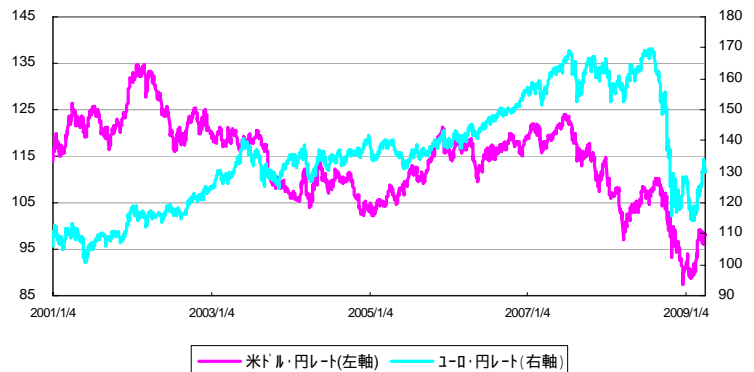


### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



### 外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命「AXA」 <http://www.axa.co.jp/life/>

# 保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2008年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定「世界分散型40AL(501)」の運用方針および運用状況 [2009年3月末日現在]

特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型40AL(501)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
ステート・ストリート 4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>	当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券20%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券30%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券20%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券30%* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う 実質的な組入外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行います。 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の 変動幅を設け調整を行います。 当ファンドの主なリスク ・価格変動リスク ・信用リスク ・カントリーリスク ・為替リスク

### 特別勘定の運用コメント（2008年4月1日 - 2009年3月末日）

2008年度のユニット騰落率は19.39%となりました。株式資産については、米証券大手の破綻に端を発する世界的な金融危機の深刻化と实体经济の悪化を背景に大幅な下落となり期末を迎えました。日本・外国株式への資産配分比率が合わせて40%を占めることから、株式市場の推移がユニットプライスに影響を与えました。

### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス	騰落率(%)
2009年3月末日	71.11
2008年12月末日	72.99
2008年9月末日	82.48
2008年6月末日	89.81
2008年3月末日	88.22
2007年12月末日	96.29
過去1ヶ月	2.21
過去3ヶ月	2.57
過去6ヶ月	13.78
過去1年	19.39
過去3年	-
設定来	28.88

- ・世界分散型40AL(501)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月20日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

### 特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40AL(501)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	28,516,882	98.8
現預金・コールローン	337,794	1.2
その他	-	-
合計	28,854,676	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	317
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	5,591,151
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	5,590,833

# 保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2008年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定「世界分散型20AL(502)」の運用方針および運用状況 [2009年3月末日現在]

特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型20AL(502)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
ステート・ストリート 4資産バランス20VA <適格機関投資家限定>	当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券10%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券40%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券10%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券40%* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う 実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の 変動幅を設け調整を行います。 当ファンドの主なリスク ・価格変動リスク ・信用リスク ・カントリーリスク ・為替リスク

### 特別勘定の運用コメント（2008年4月1日 - 2009年3月末日）

2008年度のユニット騰落率は 8.93%となりました。株式資産は大幅な下落となりましたが、資産配分比率の40%を占める日本債券が、設備投資や個人消費の減少といった内需の鈍化や雇用環境の悪化など軟調な経済指標が相次いだことを受けて、期後半にかけて上昇基調を辿り、ユニットプライスの騰落率にプラスの影響を及ぼしました。

### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス	騰落率(%)
2009年3月末	過去1ヶ月 1.10
2008年12月末	過去3ヶ月 2.16
2008年9月末	過去6ヶ月 5.11
2008年6月末	過去1年 8.93
2008年3月末	過去3年 -
2007年12月末	設定来 14.31

- ・世界分散型20AL(502)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月20日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

### 特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型20AL(502)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	6,573,884	98.7
現預金・コールローン	84,445	1.3
その他	-	-
合計	6,658,330	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	64
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	436,714
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	6,616
収支差計	443,265



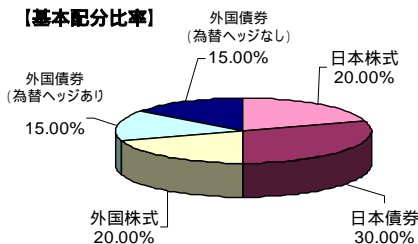
# 保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2008年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## <参考> ステート・ストリート4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>の運用状況 [2009年3月末日現在]

### ファンドの特色

#### 【基本配分比率】



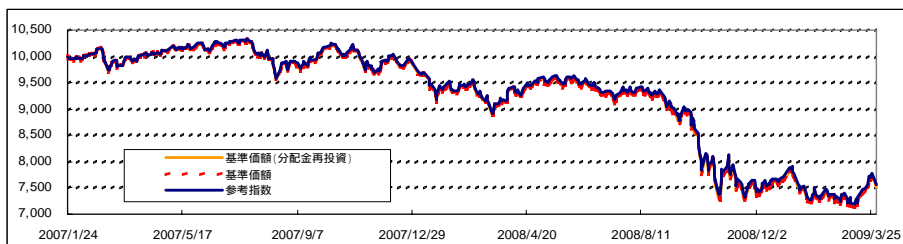
当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」、  
ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA - BP総合指数」、  
ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」、  
ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」\*  
\*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

### 基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)20%、NOMURA - BP総合指数30%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

### 概況

	2009年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	7,518 円	7,338 円	180 円
純資産総額(百万円)	37,676	34,628	3,047

	基準価額	日付
設定来高値	10,307 円	2007年7月20日
設定来安値	7,124 円	2009年3月10日

### 資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	20.00%	20.21%
日本債券	30.00%	29.63%
外国株式	20.00%	20.69%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	14.97%
外国債券(為替ヘッジなし)	15.00%	14.84%
短期金融資産	0.00%	0.34%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

### 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.45%	1.98%	12.82%	17.60%	-	24.82%
参考指数	2.32%	2.21%	12.99%	17.40%	-	24.34%
差	0.13%	0.23%	0.16%	0.20%	-	0.48%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

- ・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

#### 組入上位5カ国

国名	比率
日本	49.84%
アメリカ	20.80%
ドイツ	4.76%
イギリス	4.42%
フランス	4.19%

#### 組入上位5通貨

通貨	比率
円	64.81%
米ドル	15.93%
ユーロ	10.83%
ポンド	3.42%
加ドル	1.30%

- ・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

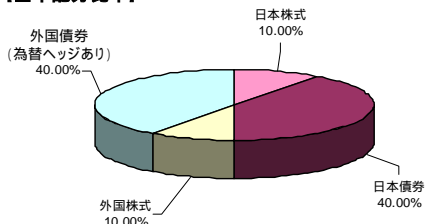
# 保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2008年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## <参考>ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2009年3月末日現在]

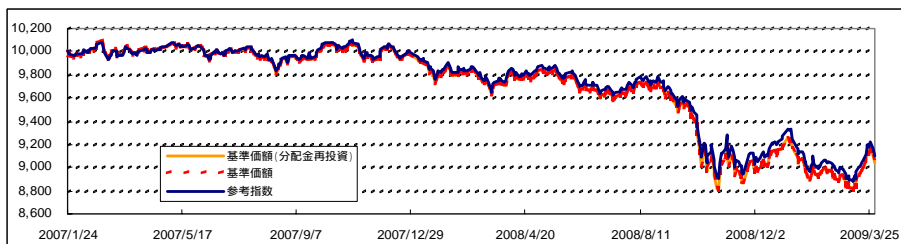
### ファンドの特色

#### 【基本配分比率】



### 基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数40%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)10%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

### 概況

	2009年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	9,043 円	8,926 円	117 円
純資産総額(百万円)	10,152	8,756	1,396

	基準価額	日付
設定来高値	10,095 円	2007年2月27日
設定来安値	8,804 円	2009年3月10日

### 資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	10.39%
日本債券	40.00%	39.85%
外国株式	10.00%	10.68%
外国債券(為替ヘッジあり)	40.00%	40.02%
短期金融資産	0.00%	0.93%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

### 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.31%	1.60%	4.06%	6.84%	-	9.56%
参考指数	1.23%	1.77%	4.05%	6.48%	-	8.95%
差	0.08%	0.17%	0.01%	0.37%	-	0.61%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- ・また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

- ・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

#### 組入上位5カ国

国名	比率
日本	50.23%
アメリカ	18.64%
ドイツ	5.25%
イタリア	4.83%
フランス	4.74%

#### 組入上位5通貨

通貨	比率
円	90.42%
米ドル	5.56%
ユーロ	1.42%
ポンド	1.09%
加ドル	0.49%

- ・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

# 保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06）のリスク及び諸費用について

## 【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

## 【諸費用について】

ご契約者等にご負担いただくこの保険の費用は、次のとおりです。

### 【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要費用 一時払保険料に対して <b>5.0%</b>	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

### 【積立期間中および年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要費用 <b>特別勘定の積立金額に対して年率2.3%</b>	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	特別勘定の運用等に必要費用 <b>投資信託の純資産額に対して年率0.2625%程度（税抜0.25%程度）*</b>	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

\* 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用が含まれますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

\* 運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

### 【一般勘定で運用する年金の支払期間中】 年金の種類を変更した場合や「年金払特約(06)」により年金としてお受け取りいただく場合です。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要費用 <b>年金額に対して1.0%*</b>	年金支払日に控除します。

\* 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。一般勘定で運用する年金の支払期間中は、他に年金管理費がかかります。

## 【その他の留意事項について】

### 受取総額保証金額（終身型）

受取総額保証金額の最低保証は、年金を特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。特別勘定終身年金以外の方法でお受け取りいただく場合や、積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

## 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
TEL:0120 375 193

アクサ生命  <http://www.axa.co.jp/life/>